

## 平成25年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	33	子や孫につながる平和のウミイ事業		沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-4-(2)-ウ		
担当部課名	子ども生活福祉部 平和援護・男女参画課	事業実施 (予定)年度	平成 24 ~ 25 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	アジア・太平洋地域の安定と平和に 資する平和人権協力外交の展開  Ⅲ-7		
事業内容	平成24年度の事業を継続し、25年度は戦争体験証言事業の拡大版(50件)の編集作業を行う。また「家族に語り継ぐ平和のウミイ事業(300件)」とともに沖縄戦の教訓を次代に伝え、恒久平和に寄与することを目的とし、DVD貸出し開始及び平和祈念資料館映像ブースにアップロードし、公開する。また、講演会では本事業のテーマでもある「沖縄戦の教訓をどのように次代へ継承していくのか」と題して基調講演とパネルディスカッションを行う。更に成果報告展を県内で実施することで、より多くの県民に本事業の内容を理解してもらう。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	41,429	-	14,229		
		(b) 予算現額	41,429	-	14,229		
		(c) 増減額 (b-a)	0	-	0		
		(d) 繰越額	-	-	-		
	A. 計 (b+d)		41,429	-	14,229		
	B. 執行済額		41,210	-	13,810		
	うち交付金充当額		32,968	-	11,048		
	C. 次年度繰越額		0	-	0		
	執行率 (%) (B/A)		99.5%	-	97.1%		
予算の状況の説明		平成25年度は、平成24年度に収録した350件の映像公開(うち50件は編集も含む)、シンポジウム、成果報告展、映像貸出しを開始。予定事業を全て実施し、執行率は97.1%であった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H25活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	①「戦争体験証言収録の拡大版(50件)」の映像編集・本館映像ブースへのアップロード及び公開、貸出し ②「家族に語り継ぐ平和のウミイ事業(300件)」の本館映像ブースへのアップロード及び公開、貸出し	目標	-	350件(①+②)			
		実績	-	350件(①+②)			
	③基調講演とパネルディスカッションの実施 ④成果報告展の実施	目標	-	1回(③)、7カ所(④)			
実績		-	1回(③)、7カ所(④)				
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>①について、全ての映像を公開し、貸出しを開始している。</li> <li>②について、全ての映像を公開し、貸出しを開始している。</li> <li>③について、H25年9月28日に実施した。アンケートの記述によると、概ね好評であり、戦争体験証言者の関係者だけでなく、高校生、大学生等若い世代の参加もみられた。</li> <li>④について、平和祈念資料館、八重山平和祈念館、久米島博物館、宮古島市総合博物館、イオン名護店、イオン具志川店、コープあつぷるタウン(那覇市)の計7カ所で開催した。</li> </ul>						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H25成果目標(指標)		基準値 (一年度)	24年度	25年度	26年度	目標値 (一年度)
	講演会、パネルディスカッションへの参加や証言映像及び成果報告展等の観覧をとおり、沖縄戦の教訓とそれを語り継ぐ意義を理解することができた方の割合。	目標	-	-	80%		
		実績	-	-	91%		
	-	目標	-	-	-		
		実績	-	-	-		
進捗状況説明	講演会、シンポジウム(講演会 + パネルディスカッション)を開催し、県内7カ所での成果報告展を予定どおり実施できた。また、沖縄戦の教訓とそれを語り継ぐ意義を理解できた方の割合が91%(参加者へのアンケート実施による把握)と、目標の80%を大きく上回った。						

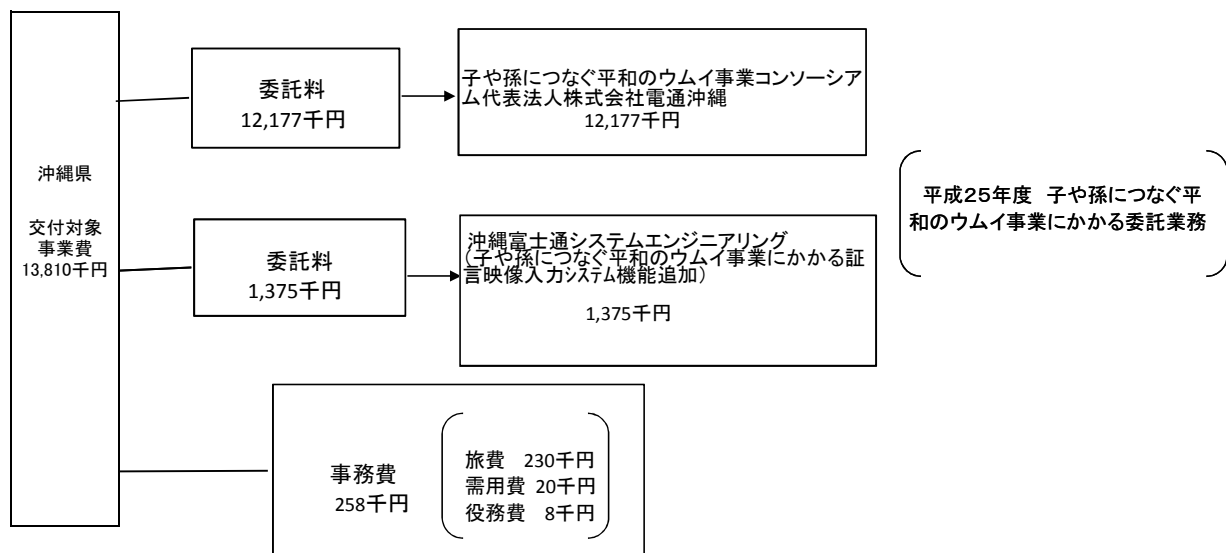
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動実績は、目標どおり①と②の合計350件の映像を公開、貸出し開始していることから「達成」と評価する。</li> <li>成果実績は、目標を上回る、91%の観覧者が本事業の意義を「よく理解できた」、「理解できた」と回答していることから、「達成」と評価する。</li> <li>観覧者のアンケートの記述から、平和祈念資料館での成果報告展の開催期間をもっと長くしてほしいという声があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成果報告展については、年度内で県内7カ所をまわる必要があったため、1カ所での開催が6日～11日程度と短かった。</li> </ul>

**今後の取り組み方針**

・平成26年度の平和祈念資料館の展示活動に、再度「ウムイ事業」の成果報告展を盛り込み、アンケートの要望に応える。また、25年度に観覧できなかった方々へ向けて、再度広報を行う。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
13,810	13,810	11,048	2,762	0	0	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	